

**校名の由来**  
 「明」…「知性を表し 光輝き賢い」の意  
 「成」…「育つ 育てあげる」の意  
 ■ 将来にむかって優れた人材の輩出に期待がこめられた校名

**校訓**  
**聡明（知）** 知性を磨き 真理を探究する生徒  
**敬愛（徳）** 豊かな心情をもち 自他を尊重する生徒  
**躍動（体）** 心身共にたくましく 粘り強く実行する生徒

**教育目標**  
 (昭和60年4月1日制定)

**めざす学校の姿（日の出・明成小中一貫教育に向けて）**  
**「学び続ける学校」** → 「新しい時代に対応できる力」と「豊かな人間性・健やかな体」を育む学校  
**「社会とつながる学校」** → 未来を見据えて、地域とつながり、誰もが成長を実感できる学校

**めざす生徒の姿（日の出小・明成中で統一）**

『聡明』○**挑戦**する生徒  
 ・失敗を恐れずチャレンジし、自ら学び続ける生徒

『敬愛』○**協働**する生徒  
 ・個性の違いを受け入れ、支え合い、コミュニケーションを楽しめる生徒

『躍動』○**貢献**する生徒  
 ・学級、学年、学校、地域など誰かのために行動できる生徒

(令和5年度 新年度計画会議にて確認)

**学校運営のスローガン 『同じ山に登る』**

新しい時代に対応できる力の育成      豊かな人間性・健やかな体の育成      信頼される学校づくり

各年度の学校経営方針 今年度のキーワード **「自主・自律」～チームで挑戦・協働・貢献～**

《 令和5年度までの中期達成目標 》 (毎年確認)

|                               |                              |
|-------------------------------|------------------------------|
| 山頂 ◎聡明（知）敬愛（徳）躍動（体）をバランス良く育てる |                              |
| めざす学校像、めざす生徒像                 | ★それぞれ5段階の4以上<br>★生徒や教職員の姿で評価 |
| 全国学力学習状況調査、全国標準学力検査、学力テスト     | ★全国・岩見沢の平均以上                 |
| 全国体力・運動能力、運動習慣調査              | ★全国平均以上                      |
| 学校評価 及び 各種アンケート               | ★肯定的な意見で80%以上                |

## Ⅱ. 令和5年度 学校経営方針の重点について（概要）

令和5年度の経営方針に向けた思い

キーワード 「自主・自律」 ～ チームで挑戦・協働・貢献 ～

- (1) 中学校年代の生徒たちを「自律」させたい。「自主・自律」とは、自ら夢や目標を定めて、自ら考え行動し、その結果に責任をもつこと。PDCAサイクルを自分で回せること。
- (2) 同じ山の山頂（学校の教育目標達成）を目指し、本校の目指す学校の姿「**学び続ける学校**」「**社会とつながる学校**」を創造するよう「自主・自律」をキーワードに「チームで挑戦・協働・貢献」したい。

### 1. 学校経営ビジョンと明成中の共通言語を継続・徹底・変化

- (1) スローガン「同じ山に登る」
- (2) 組織で動く「チーム明成」
- (3) 理念「学校づくり＝授業づくり」

### 2. 人が替わっても変わらない学校づくり

- (1) 良いものを続けるためには常に変化を恐れない
- (2) 挑戦→「ドンマイ」から「ナイストライ」への変革

### 3. 日常の授業づくりの徹底（子どもと創る授業をめざして） 「**学び続ける学校**」

- (1) 学力向上のための積極的な授業づくり(生徒一人ひとりを誰一人取りこぼさず全員を伸ばす)
  - ① 生きる力を育む  
ア基礎的、基本的な知識及び技能（活用できる知識・技能等）  
イ課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力（考える力・プレゼン力等）  
ウ主体的に学習に取り組む態度、個性を生かし多様な人々との協働  
(コミュニケーション力・対話等)
  - ② 明成スタイルの継続・深化（主体的・対話的で深い学び）  
「課題・ポイント・自力解決・**集団解決（交流から話し合いへ）**・振り返り」  
(校内研修・小中一貫研修（日の出小）・個人研修・研究所など外部機関での研修などを通して)
- (2) GIGA スクール構想(ipadの効果的な活用と持ち帰り)への積極的な取り組み
  - ①教職員、生徒ともに学習機器としてのipadの操作スキルの向上と効果的な活用方法の工夫
  - ②ICTの効果的な活用

### 4. 全ての教育活動でピア・サポートを土台とした学校づくり（徹底的に生徒を大切にする教育）

- (1) 授業（各教科・道徳・総合）特別活動（学級活動・生徒会活動・学校行事）部活動など
- (2) 生徒理解と人間関係づくり（不登校を生まない組織作り 生徒と生徒・生徒と教師・教師と教師）
  - ①多様化している生徒たち誰一人取りこぼさず理解し受け入れ寄り添い現状より伸ばす生徒支援
  - ②縦割り活動の充実
  - ③ピア・サポートを土台に、互いをリスペクトし、協働する教職員集団の構築

### 5. 信頼され「**社会とつながる学校**」づくり

- (1) 幼・小・中・高との連携（日の出・明成小中一貫教育の充実）
- (2) 日の出・明成コミュニティ・エリア構想（**学校運営協議会の充実**）
- (3) 「チーム明成」の拡大  
(本校の生徒・保護者・教職員だけでなく日の出小児童・保護者・教職員・日の出地域)  
→ 良いイメージの空気感を日の出地区全体に広げる  
(学校だより・学級だより・ブログ・一斉同報メール等を活用した発信力の強化)

### 6. 教育の質を上げるために、実効性のある「働き方改革」の推進（目に見える変化）

- (1) 更なるアイデア（個人→学年・G→企画委員会）
- (2) 岩見沢市の部活動改革への協力